

4/29 ~ 7/17

土曜日・祝日

月曜日・祝日



東日本から熊本へ

3月11日から始めたこと

小池アミイゴ展

観覧料:一般300(250)円/高校・大学生200(150)円/小・中学生100(50)円
※()内は20名以上の団体料金 ※水俣市・葦北郡内の学校による利用は事前申請により無料

会場:1階展示室

主催:つなぎ美術館

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494 ☎0966-61-2222





雪の福島 2012 作家蔵



熊本江津湖公園 2016 作家蔵

2011年6月11日、初めて
福島県いわき市豊間の海岸へ行った。

震災ボランティアのツアーに参加し、
こっちの集落は80名、
あっちの集落は100数十名が
命を落としたなんて
土地の片付けを手伝っていた。

その日はライブも行われ、現地の方と
言葉が交わすことが出来ただけけど、
音楽を楽しむなんて心境には
至れていないんだろう、
みんな一様に疲れた顔をしていた。
そんな中、小学4年生くらいの
とても元気な男の子がいたので、
ボクはちよっとホッとした気持ちで
話しかけてみた。

「キミ、どこから来たん？」
「あっち」
「被害が小さかったって聞いたとこかな？」
「小さく無いよ！2人も死んだんだ」
ボクは80名が犠牲になった土地に立って
男の子とコトバを交わし、
ガツンと頭を殴られたまま
「被災地」と呼ばれる土地を歩き、
絵を描き、
あれから6年後の熊本へ向かう。



日立浜夕景(岩手県宮古) 2016 作家蔵

東日本から熊本へ
3月11日から
始めたこと
小池アミイゴ



那須のたんぼ 2016 作家蔵



ドローイング:4月5日の熊本 2016 作家蔵

小池アミイゴ

1962年~70年代、群馬で生まれ育つ。
80年代、大学を中退、長沢節主催のセツモードセミナー
で絵の生き方を学び、イラストレーターデビュー。
90年代、バンドやCLUB DJの活動を重ね、表現の現場創
りに至る。93年、実家が焼けた。
2000年代、日本の各地を巡り土地に暮らす人とイベント
やワークショップを開催し、ローカルな生き方を探る。
2010年代、親になる。東日本大震災発生後東北沿岸部を
巡り、絵を描き「東日本」と名付けた展覧会を4度開催。

同時開催 赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息

2017年4月29日(土・祝) ~ 7月17日(月・祝)
アートプロジェクト「赤崎水曜日郵便局」(2013~2016)に
全国から届いた手紙の一部を、書籍『赤崎水曜日郵便局』
の表紙絵・挿絵(小池アミイゴ)とともに展示します。
※会期中に展示作品の一部を入れ替えます。
観覧料: 無料
会場: 3階展示室
主催: つなぎ美術館

●アーティストトーク
「ボクが3月11日から始めたこと」

日時: 4月29日(土・祝) 13:30~14:30
会場: 1階展示室
話し手: 小池アミイゴ
定員: 50名(申込不要)
料金: 観覧料のみ

●ワークショップ
「だれでも絵が描けるワークショップ」

日時: 6月11日(日) 13:30~15:30
会場: アトリエ
講師: 小池アミイゴ
対象: 小学生以上(小1・2年生は保護者同伴)
定員: 10名(要事前申込・先着順)
参加費: 無料